

おいしい水とまずい水の違い

水のおいしさや味は、ミネラル成分とバランス、不純物が入っているか、水温や飲む人の健康状態などの条件で変わってきます。

一般的に水道水がまずいと言われるのは、消毒された安全な水を届ける為に、塩素やカルキなどの不純物が含まれているからです。これで、臭いが悪くなり味をまずく感じさせるのです。



ミネラルウォーターがおいしいのは、雨や雪が長い時間を掛けてろ過され、不純物が少ないのはもとより、地層のミネラルのバランスがほどよく溶け込んでいるからです。

ところで、滝沢村の水道水は、原水の78%を深井戸の地下水でまかっています。これは、岩手山麓に降った雨や雪が長い年月をかけて、自然の力によってろ過された良質な水であり、最低の消毒をしている以外はミネラルウォーターとほとんど同じです。

水をまずくする、臭いと不純物

水は、特徴として臭いの成分を溶かしやすい性質がある為に少しの臭いでもすぐに移ってしまいます。

集合住宅（マンション等）では、貯水タンクに水を貯める為、生ぬるくなったり、管理をおこたると、カビや藻などが発生することもあります。また、一般家庭でも写真のようなさびなどの不純物によって水をまずく感じたりします。



●水道の味や色が変わだなと思ったら

その水をガラスの器に保存しすぐ、水道課へご連絡ください。



●水をおいしく飲むコツ

冷して飲むのが一番！
煮沸して消毒臭を飛ばすとよりおいしく飲めます。



グンドリの湧水はお茶との相性がよいとのことで毎年、村民茶会でもお使いいただいております。

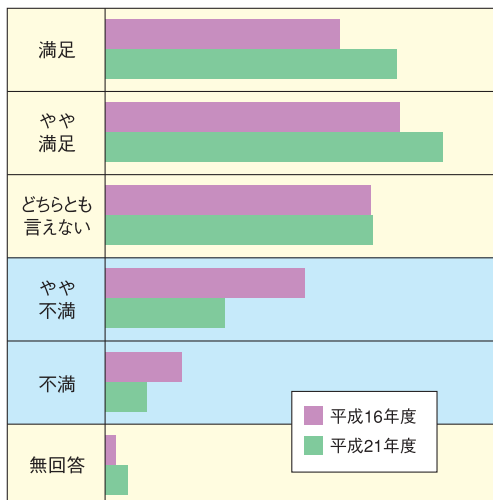


村茶道協会
村民茶会
(今年5月)

※平成21年度アンケート調査結果から

水道水の水質等について

●飲み水としての水質



あなたが水道水を不満に思う理由について

